

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 179 号 2013. 3. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

激しい頭痛とおう吐にほうじ茶！

千葉県 蒔田未来



昨年 12 月の半ばに、私は突然体調を崩し、激しい偏頭痛を引き起こしました。そのとき母と一緒に祖父の介護をしていたのですが、途中から普通に立っていることさえできなくなり、あまりに激しい偏頭痛により吐き気も誘発され、家に行き着く前に車の中で戻ってしまうほどでした。その後、おう吐が止まらなくなり、5~10 分おきに胃液だけを戻し続けて苦しみました。父が心配し、大雪の中、市販のスポーツドリンクを買いに行ってくれたのですが、それすら受け付けず、水分を摂っては戻す、の繰り返しになってしまいました。

そんなとき、母が「自然のお茶なら飲めるかも」と言って、自然農法のほうじ茶を淹れてきてくれました。「また戻してしまうのではないかと」恐る恐るお茶を口にしました。そんな中でもそのほうじ茶はとておいしく感じられました。

その後、ほうじ茶を飲んでからは、おう吐が治まり、吐くこともなく、徐々に回復しました。普通の水ですら受け付けなかったのに…と不思議に思いつつ、自然農法のお茶のすごさを実感しました。

吐き気で苦しんでいたところを回復に導いてくれたほうじ茶と、勧めてくれた母に感謝の気持ちでいっぱいです。

食べればわかる♪ 自然米

千葉県 戸嶋真菜実



去年結婚をきっかけに、食について考えました。今まで実家(自然農法実施者)で当たり前食べていた自然農法のものですが、これからは自分で意識しない限り取り入れることがなくなると考えたとき、せめて毎日食べるお米だけでも自然米を食べたいと思うようになりました。

主人にどう伝えようかと思っていたとき、お手ごろサイズのお米を売っているのを見つけ、早速買って帰り、その日のごはんは何も言わず出しました。すると、「今日のごはんおいしいね。変なおいもしいし」と言われました。違いに気付いてもらえ、これからは自然米にしたいことを伝え、

すぐに了解を得ることができました。毎日自然米を頂いていることに感謝しています。

そして自分たちだけで食べては申し訳ないと思い、堀さんの金賞(食味分析鑑定コンクール)受賞米を職場の方へお渡しすることができました。「おいしいお米だから混ぜずにこれだけで食べて」と伝えると、「こんな高そうなお米をありがとう」と喜んでくれました。そして後日、一人の方より「この前のごはん本当においしかった。旦那に何も言わず、おにぎりにして渡したら、今日のごはん、いつものと違う？ 冷めていたのに、おいしいなって思ったんだ、と言われた」と教えてくれました。

人が食する真の食べ物が皆にもおいしいと思ってもらえること、すごくうれしかったです。このすばらしい食べ物を、これからも多くの人に口にしてもらえよう伝えていきたいと思えます。

カフェで自然農法の集まりを

茨城県 市原裕美

自然農法を始めたのは 2002 年、神奈川にいたときです。その後、主人の茨城への転勤で、畑のできない時期もありましたが、友人の町田さんが茨城で借りていた土地の一部を使わせていただいたり、2 年前からは、茨城県笠間市で、友人の脇元さんと畑をシェアして自然農法に取り組んでいます。その畑は先輩の門奈さんが 15 年間取り組んだ土地で、現在自然農法 17 年になります。

そして、自然農法をお知らせする集まりができればいいなと思っていましたら、以前私たちの野菜をイベントで販売してくださった「言の葉」(カフェ&ギャラリー)から、「3 月 13 日にぜひ自然農法の集まり

を」とお話を頂き、野菜作り経験の浅い私は、一人で開くには不安もあり、自然農を実践されているご夫婦と一緒に企画しました。

当日は、畑でとれた切干大根のみそ汁を試食していただきながら、農産展で紹介していただいた私たちの畑の写真を用いて、作業の様子などをお話ししました。そしてホットニュースの記事から「お米のビン実験」「みかん比較(みかんを小鳥にあげる)」で自然農法と有肥の比較について、また堀さんのお米が食味分析コンクールで金賞を受賞したこと、「りんごの比較(自然栽培と一般栽培)」で学んだ肥料の有害性についてなどをお話ししました。

「言の葉」のオーナーからは「皆さん真剣に聞いていましたよ！」とのこと。15 名予定していたところ、23 名の参加者があり、食に関心がある方が増えていると実感しました。「これから野菜作りをしたい」という方も数名いましたし、また「畑に虫がわく」など問題をもって参加された方も、肥料の話聞いて、使用していたのでやめてみます、と言われていました。「今度は畑を見てみたい」など話は盛り上がり、参加した皆さんのその後、実践してどうであったか？ つながり大切にしたいと思いました。

後日、畑のことで地主さんに電話したら、仕事で行けなかったけど、良いことをやっているね！とうれしい言葉を頂きました。自然農法の畑が広がっていくようにと思いました。



春作の始動！

季節は春を迎え、各実施者やグループが春の作物の種蒔きを始めています。

三六九会は埼玉県入間市の畑で、2 月 24 日に 30 キロのジャガイモを植えました。現在、畑には秋に種まきしたキヌサヤ、越冬したネギが 100 本ほどあります。4 月には去年成績がよかったラッカセイの種まきをします。メインであるお茶の木は霜にもやられず、元気です。台刈りした木も育ってきていて、収量は去年と同じくらいか、よりアップできるように、会員皆の気持ちをひとつにしてがんばるとのこと。



弥生会は 3 月 23 日、同じく埼玉県狭山市の畑で、14 名の青年が参加し、ジャガイモ、スイカ、春菊、ナス、小松菜、大根など多くの作物を植えました。自然農法の野菜を多くの方々に頒布していきたいという思いをこめて、皆で作業を行いました。弥生会は 20 代の青年で、農作業には不慣れな方が多いですが、それでも徐々に上達して能率も上がり、この日は多くの作業ができたそうです。弥生会の歴史は古く、数々の第一線の実施者を生み出していますので、将来に期待したいです！

お知らせ

自然農法頒布会 4 月 19 日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~(売り切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

4 月 3 日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- 長柄山自然農園 : 卵、丸鶏、しいたけ
- きじま平自然農産 : 納豆、きじま弁当、甘納豆
- 菜園金野 : 長ネギ、ホウレンソウ、コマツナ
- ジョリフィーユ : 新みかんジュースゼリー、ルバーブのタルト、カスタードプリンほか
- 市川生産グループ : 煎茶、ほうじ茶
- 中島農園 : ネギ、ジャガイモ、梅干

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>